

# シカの影響による下層植生衰退と 土壌侵食・水源かん養機能の関係

東丹沢堂平地区では、丹沢大山総合調査の一環で土壌侵食の実態調査が行われ、以降、対策手法の開発や対策効果の検証にかかる調査が継続されてきました。本研修では、13年間に渡り一連の研究に取り組まれた東京農工大学名誉教授石川芳治氏より、改めてこれまでに得られた知見を解説いただきます。



H16.9.11 植生保護柵内の植生調査の状況  
(後方に写る裸地は柵外)

■ 日時 平成29年7月20日(木)

14:00~16:30

■ 会場 厚木商工会議所 1階 101号室

厚木市栄町1丁目16-15 本厚木駅北口より徒歩10分

■ 対象 県職員、外部連携機関の関係者

■ 講演 「東丹沢堂平における土壌侵食実態  
および土壌保全対策の効果について」

■ 講師 東京農工大学名誉教授 石川芳治氏



実態解明 (H16~23)



対策手法の提案 (H17)



対策の効果検証 (H18~28)

※当日は、講演に先立ち、背景となる堂平地区のシカや植生の対策と近年の動向、本調査の成果と水源環境保全・再生施策との関わりについて、当センター職員より解説します。

申込み・問合せ先 神奈川県自然環境保全センター

研究連携課 内山 TEL 046-248-0321 (課代表)

